

青森県…ハバロフスク地方（ロシア連邦）

Khabarovsk, Russian Federation

1 提携年月日 平成4年8月27日（友好協定書調印の日）

2 地方の概況

ハバロフスク地方は、ロシアの極東に位置し、日本海に面している。面積は、日本の約2倍で、人口は約134万人（2012年1月現在）、州都はハバロフスク市である。

気候は、モンスーン気候型で、北部はツンドラ地帯となっている。州の4分の3が山岳部であり、平野部はアムール川の河川地域に展開している。

天然資源が豊富であり、石炭、金、マンガン、マグネシウム、鉄、錫を産出する。また、森林資源も多い。極東では、最も工業の発達した地域であり、特に機械、金属工業が盛んである。化学、食品、木材加工の大規模工場も立地している。

農業では、南部を中心に穀物、じゃがいも等が生産されている。

ハバロフスク空港は、ロシア極東で最大の国際空港であり、平成7年4月に青森空港との定期路線（現在、休航中）が開設されたほか、現在、新潟、ハルビン、ソウル、ピョンヤン、アンカレッジ、サンフランシスコ、シアトル、シンガポール、タシケント、キエフと結ばれている。

3 友好提携までの経緯

東西の緊張緩和により本県とソ連との交流の拡大が考えられることから、平成2年12月に「ソ連との交流に関する基本方針」を策定し、今後のソ連との交流に当たっての基本的な考え方を取りまとめた。同方針では、本県と地理的に近く、交流の気運が醸成されつつある沿海地方、ハバロフスク地方及びイルクーツク州を交流推進地域とし、これらの地域との交流から始めることとした。

その後、平成3年2月には、ハバロフスク地方人民代議員会議ダニリュク議長を招聘し交流についての協議を行った。また、平成4年8月には、知事を団長とする県ミッションをロシア極東のハバロフスク地方、イルクーツク州、沿海地方に派遣し、包括的な交流の枠組みづくりなどについて協議を行った。その際、ハバロフスク地方行政政府イシャーエフ長官との会議の結果、農林水産業、医療保健、文化・スポーツ等の分野で交流を推進することが有意義であるとの合意に達し、平成4年8月27日、ハバロフスク市において友好協定を締結した。

4 交流の現状

ハバロフスク地方とは、これまで、地方政府代表団の受入れをはじめ、青少年、医師及び農業技術者の派遣・受入れ、水産技術者の派遣、民俗芸能団の受入れ、国際交流員の招致、県職員のハバロフスク派遣・行政実務研修など、幅広い分野での交流を行っている。

互いの交流の節目として、協定締結5周年毎に記念事業を行ってきており、20周年目となる平成24年度は、本県を会場とし、記念事業として、記念講演会、「ハバロフスクフェア」を開催した。

さらに、25周年目となる平成29年度は、本県を会場とし、記念事業として柔道交流（ハバロフスク側の柔道団5名）を行った。

5 交流の主な動き

- 平成 2年 6月 青森県日ソ交流協会（現青森県日ロ交流協会）の設立
8月 青森県日ソ交易（株）（現青森県日ロ交易（株））の設立
12月 「ソ連との交流に関する基本方針」策定
3年 2月 ハバロフスク地方人民代議員会議ダニリュク議長の来県
8月 県ミッションの極東地域への派遣繰り延べ
（旧ソ連のクーデター発生）
4年 8月 知事を団長とする県ミッションのロシア極東への派遣
8月 ハバロフスク地方と友好協定を締結（ハバロフスク市）
10月 青森県医師団のハバロフスク地方への派遣
5年 4月 ハバロフスク地方との友好協定に基づく交流の実施
4月 青森公立大学にロシア語講座開設
5月 ハバロフスク地方行政府長官を団長とする代表団の来県
6年 1月 青森～ハバロフスク間の国際定期航空路線開設の合意
（平成7年4月から運行予定）
2月 ハバロフスク地方へ事務レベル協議団の派遣
12月 ハバロフスク地方からの事務レベル協議団の受入れ
7年 4月 青森～ハバロフスク間の国際定期便の就航
7月 ハバロフスク市で国際定期便就航記念祝賀会の開催
9月 ハバロフスク市で「青森県フェア」の開催
8年 7月 ハバロフスク地方へ事務レベル協議団の派遣
9年 11月 ハバロフスク地方行政府長官を団長とする代表団の来県
10年 7月 ハバロフスク地方行政府副長官一行が文化観光立県宣言式典に出席
9月 ハバロフスク地方へ事務レベル協議団の派遣
12年 1月 ハバロフスク地方から事務レベル協議団の受入れ
12年 8月 ハバロフスク地方へ事務レベル協議団の派遣
13年 9月 ハバロフスク地方へ事務レベル協議団を受入れ
14年 8月 ハバロフスク市で「友好協定10周年記念事業」実施
14年 9月 ハバロフスク地方へ事務レベル協議団を派遣
15年 9月 ハバロフスク地方から事務レベル協議団を受入れ
16年 8月 ハバロフスク地方へ事務レベル協議団を派遣
17年 5月・7月 青森・ハバロフスク地方便就航10周年記念事業実施
17年 8月 ハバロフスク地方から事務レベル協議団を受入れ
18年 7月 ハバロフスク地方へ事務レベル協議団を派遣
19年 7月 青森県で「友好協定15周年記念事業」実施
ハバロフスク地方から事務レベル協議団を受入れ
20年 7月 ハバロフスク地方へ事務レベル協議団を派遣
21年 10月 ハバロフスク地方から事務レベル協議団を受入れ
23年 1月 ハバロフスク地方から交流事業に係る協議のため、文化省大臣・保健省大臣
をはじめとした文化及び医学関係の訪問団を受入れ

- 24年 3月 ハバロフスク地方から事務レベル協議団を受入れ
- 24年 8月 青森県で「友好協定20周年記念事業」実施
- 25年 8月 ハバロフスク地方へ事務レベル協議団を派遣
- 26年 5月 ハバロフスク地方太平洋国立大学副学長が来県し、県の立会いのもと、同大学と八戸工業大学との学術交流に関する意見交換会実施
- 6月 ハバロフスク地方太平洋国立大学学長が来県し、県の立会いのもと、同大学と八戸工業大学との間で「教育・学術交流に関する協力合意書」に調印
- 27年 3月 ハバロフスク地方と青森県との交流事業計画書に調印
- 28年 7月 ハバロフスク地方へ事務レベル協議団を派遣
- 29年10月 青森県で「友好協定25周年記念事業」実施